

「保健医療科学」
第75巻 第3号 予告

特集：女性の健康—ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり—（仮題）

わが国の女性の健康政策の動向（仮題）	平田有美恵
女性の特有の健康課題と対策の現状：ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり（仮題）	原田美由紀
女性の健康とEBPM:「女性の健康総合センター」とその役割（仮題）	森崎菜穂
地方自治体における女性の健康づくり（仮題）	秋田萌
職域における女性の健康づくり（仮題）	野村恭子
災害・健康危機における女性の健康課題と対策の現状（仮題）	富尾淳

編 集 後 記

プレコンセプションケアという言葉が耳にする機会は増えてきましたが、その本質的な意味や広がりについては、まだ十分に共有されているとは言えないかもしれません。妊娠を希望する人への支援として捉えられることも多い一方で、本来は、将来の健康やライフプランについて考え、よりよい健康につなげていくための、ライフコース全体を見据えた取組です。

本特集を通して、プレコンセプションケアは特定の専門職や一つの制度の中だけで進められるものではなく、教育、保健、医療、職域など、それぞれの現場がつながりながら推進していくことの重要性を感じていただけるのではないのでしょうか。とくに、思春期という早い段階から信頼できる情報に触れる機会をつくり、若者が自身の生活や健康について考え、関心を向けられるよう支えることは、今後の実践を考えるうえで重要な視点になるように思います。一方で、誰に、どのような形で支援を届けるのか、実践の効果をどのように評価していくのかなど、まだ模索の途上にある課題も少なくありません。本特集が、読者の皆さまそれぞれの立場から「自分の現場では何ができるだろうか」と考えるきっかけとなり、プレコンセプションケアの広がりが、より多くの人の健康を支える実践へとつながっていくことを願っています。

（公衆衛生政策研究部 大澤絵里）